

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	新居浜工業高等専門学校
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ニイハマコウギョウコウトウセンモンガッコウ
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中国・四国地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立高等専門学校
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップA、インターンシップB、シニア・インターンシップ
	学部・研究科等名	機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、生物応用化学科、環境材料工学科、生産工学専攻、生物応用化学専攻、電子工学専攻
	担当教職員名・役職	本科4年生学級担任(5学科)、専攻主任(3専攻)、学生課教務係
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	218
	受入企業等数	175
	受入企業等名	花王(株)、中部電力(株)、大阪ガス(株)、大分キヤノン(株)、日本ゼオン(株)水島工場、香川大学、(株)大塚製薬工場、(株)アイワ技研、(株)一宮工務店、おべ工業(株)、(株)カンセツ四国事業所、住友共同電力(株)、住友金属鉱山(株)別子事業所、(株)セラテック 等
インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 11.その他	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	大学、大学院、県や国等の機関でのインターンシップ	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業等が設定した実習期間、実習内容(テーマ)等から、学生自身の判断により受入企業等を選定し、実習を行なう。企業等における業務への従事はもちろん、課題解決ワーク等、実習内容は様々である。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	本科4年次、専攻科1年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位、2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本科4年次においてインターンシップA(2単位)、インターンシップB(1単位)を専門教育科目として実施しており、学科によって必修、選択科目としている。専攻科1年次においては、シニア・インターンシップ(2単位)を専門教育科目、選択科目として実施している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	外部講師によるマナー研修を実施している。また、インターンシップ受入先について企業研究等の事前学習を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後、報告書を作成して振り返りを行なうこととしている。また、学内でインターンシップ報告会を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	学生のインターンシップ期間中に担当教員による企業訪問を実施している。その際に学生との面談、声掛けの実施や学生の成果発表の場に参加している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	シラバスにおいてルーブリックを整備し、全体で共有している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間以上、10日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間以上、10日間以上(うちインターンシップ実施期間5日以上、10日以上)
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本校では実働10日間以上のインターンシップに参加するよう指導をしており、1つの企業等で10日間を確保できない場合は、複数のインターンシップに参加して、合計10日間以上の実習を実施するよう指導している。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習証明書、評価書において受入企業等にも学生の評価をお願いしている。また、企業等の担当者と企業訪問時や面談の際に内容、期間等に関して打ち合わせを実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=40
問い合わせ先	大学等名	新居浜工業高等専門学校
	担当部署名	学生課 教務係
	担当者役職名	
	担当者氏名	川崎 靖司
	電話番号	0897-37-7724
	メールアドレス	kyoumu-c@off.niihama-nct.ac.jp